



ADRC Highlights

Asian Disaster Reduction Center Monthly News

Vol. 345
December
2021

トピックス

メンバー国との協力推進

📌 アジア防災会議2021 (ACDR2021)が開催されました

関係機関との協力推進

第2回GLIDE運営委員会会議

国際会議への参加

📌 アジア太平洋防災パートナーシップ (APP-DRR) フォーラムへの参加

📌 第16回統合ワークショップへの参加

Asian Disaster Reduction Center アジア防災センター

〒651-0073
神戸市中央区脇浜海岸通
1-5-2 東館5F

Tel: 078-262-5540
Fax: 078-262-5546
editor@adrc.asia
https://www.adrc.asia

© ADRC 2021

●メンバー国との協力推進

アジア防災会議2021 (ACDR2021)が開催されました

アジア防災会議2021 (ACDR2021) は、今年度も新型コロナウイルスの感染状況を考慮し、2021年12月14日～16日にオンラインで実施されました。

会議には、メンバー国、国際機関、民間企業、研究・学術機関などから36ヵ国430人の防災関係者にご参加いただき、成功裏に終了しました。ご協力いただきました関係者の皆様には厚く御礼申し上げます。

オンライン会議の様子は、以下のサイトでご覧いただけます。(2022年3月31日まで)

(アジア防災会議2021 公開サイト)

1日目: <https://youtu.be/uriF9zui98s>

2日目: <https://youtu.be/TfVFjwDLrKE>

3日目: <https://youtu.be/hyjgkKFKPgY>



(アジア防災会議 公開サイト)

また、第1日目のアジェンダは、下記のとおり更新されました。

開会挨拶

- 二之湯 智 内閣府特命担当大臣 (防災)
- ラスタム・ナザルゾダ タジキスタン非常事態・市民防衛委員会 委員長
- 濱田 政則 アジア防災センター (ADRC) センター長

基調講演

- 水鳥 真美 国連事務総長特別代表 (防災担当) 兼 国連防災機関長
- バスキ・ハディムルジョノ インドネシア公共事業・国民住宅省 大臣

続き

- サンドラ・ウー（呉 文繡）国際航業株式会社 代表取締役会長

ハイレベル・ラウンドテーブル

- ラスタム・ナザルゾダ タジキスタン非常事態・市民防衛委員会 委員長
- ジッド・アブドゥラ シンガポール市民防衛庁 ボランティアコミュニティパートナーシップ部 部長
- モハマド・モーシン バングラデシュ防災救援省 長官
- シャムスル・マーリフ インドネシア防災研究訓練センター（PUSPPITA）チェアマン（元国家防災庁長官）
- アリウンブヤン モンゴル国家危機管理庁 長官
- ムハマド・イドリース パキスタン国家防災局 理事
- デルフィン・N・ロレンザナ フィリピンフィリピン国家災害リスク削減管理委員会 委員長
- スダンサ・ラナシンハ スリランカ防衛省防災センター センター長
- ボータム・レッカセーム タイ内務省防災局 長官
- ファム・ドック・ルアン ベトナム防災総局 長官

会議の詳細につきましては、次号のハイライトでお知らせいたします。

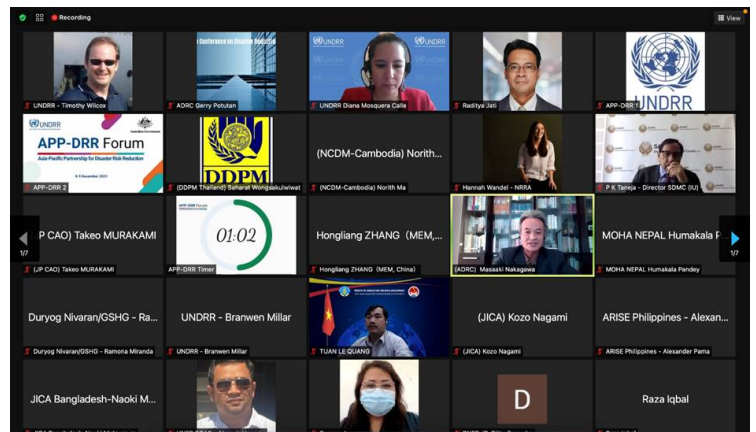
●関係機関との協力推進**第2回GLIDE運営委員会会議**

2021年12月8日、第2回GLIDE運営委員会会議が実施されました。会議には運営委員会メンバー機関から13人が参加し、GLIDEシステム改善に向けた現状の把握及び意見交換を行いました。

2021年度のGLIDEの活動報告に続き、3つの小委員会（SOP、API、製品開発）からはそれぞれの計画、提案が発表され、参加者からは、活発で、示唆に富んだ議論が交わされました。

●国際会議への参加**アジア太平洋防災パートナーシップ（APP-DRR）フォーラムへの参加**

ADRCは、2021年12月8日から9日にかけてオンラインで開催されたアジア太平洋防災パートナーシップ（APP-DRR）フォーラムに参加し、地域全体での仙台防災枠組の実施における主要な優先項目と進捗状況について話し合いを行いました。フォーラムでは、アジア太平洋行動計画（2021-2024）、2022年5月23～28日にインドネシアのバリで開催される防災グローバルプラットフォーム、2022年9月19～22日にオーストラリアのブリスベンで開催されるアジア防災閣僚会議



中川所長によるステイトメントの発表の様子

（APMCDRR）、仙台防災枠組の中間レビューと
いった機会をとらえ、さらに取り組みを加速させることを中心に議論が繰り広げられました。

続き

フォーラムでのステイトメントでは、ADRCの中川雅章所長は、中間レビューのための証拠に基づくアプローチを進めるために2つの点を提案しました。1つ目は、開発途上国でのデータ開発にさらに重点を置き、災害リスク軽減に関するデータ不足という継続的な課題に対処することです。2つ目は、災害対応活動（災害後）に加えて、災害リスク軽減（災害前）への取り組みをより推進することです。中川所長はまた、仙台防災枠組の実施において、構造的および非構造的対策（開発計画や土地利用計画など）へのリスク情報に基づく投資の必要性を指摘しました。

ADRCのステイトメントの詳細は、以下のサイトからご覧いただけます。

<https://www.undrr.org/event/asia-pacific-partnership-disaster-risk-reduction-app-drr-forum-2021>

第16回統合ワークショップへの参加

ADRCは、ESCAP/WMO台風委員会（TC）のオブザーバーとして、2021年12月2～3日にオンラインで開催された第16回統合ワークショップ（IWS）に参加しました。IWSは、台風委員会のメンバーとオブザーバーに対し、4つの台風委員会の作業部会（気象学作業部会（WGM）、水文学作業部会（WGH）、防災作業部会（WGDRR）、トレーニングおよび研究調整グループ（TRCG））の活動や進捗についてレビューする機会を与えるために開催される年次イベントです。2日間のイベントでは、各作業部会のメンバーが、台風委員会の戦略計画案2022-2026に基づいた優先項目について、並行して話し合いを行いました。

ADRCはWGDRRのメンバーであり、以下の優先項目と主要結果領域（KRA）の議論に参加しました。

作業部会	優先項目	主要結果領域（KRA）						
		1	2	3	4	5	6	7
防災	台風委員会の目標のモニタリングのために、台風関連の災害によって引き起こされた死亡率と災害の直接的経済的損失に関する信頼できる統計を提供する	X					X	
	メンバーの災害リスク軽減手法と管理戦略を強化する			X	X	X		X
	台風関連の災害に対する災害リスク軽減の社会経済的利益を評価する		X	X	X	X		
	防災関連プロジェクトに関する国際協力を促進する		X	X	X	X		X
	法と政策の枠組み、コミュニティ防災活動、災害関連情報を収集するための手法など、防災活動の経験・専門知識を共有する	X			X	X		X

各KRAについての詳細は、2021年の台風委員会WGDRRの活動に関するレポート (<http://www.typhooncommittee.org/16IWS/Parallels16IWS.html>) に掲載されています。

問い合わせ・配信申し込み

このニュースレターに対するお問い合わせ、またEメールによる配信をご希望の方は editor@adrc.asia までEメールをお寄せください。